

バ

ラ

科名 バラ 科

制作
JAファーム 店長会
(無断転載禁止)

● バラの好む環境

よく日の当たる場所に植え付けましょう。風通しがよい場所が良いです。ただし、強風はNGです。

● 選び方

樹形をまとめて楽しみたい!

▶ 木立ち性のブッシュ・ローズ

株が自立するタイプで、枝が上にまっすぐ伸びるタイプから横に張るタイプまで様々です。



フェンスなどに誘引して楽しみたい!

▶ つる性のつるバラ

枝を長く伸ばすタイプで、アーチなどに誘引して楽しむタイプです。



どちらもできる品種もあります!

▶ 半つる性のシュラブ・ローズ

枝を伸ばせばつるバラのように誘引して楽しむこともでき、短く切り詰めると、ブッシュ・ローズのように樹形をまとめて楽しむこともできるタイプです。

● 水やり

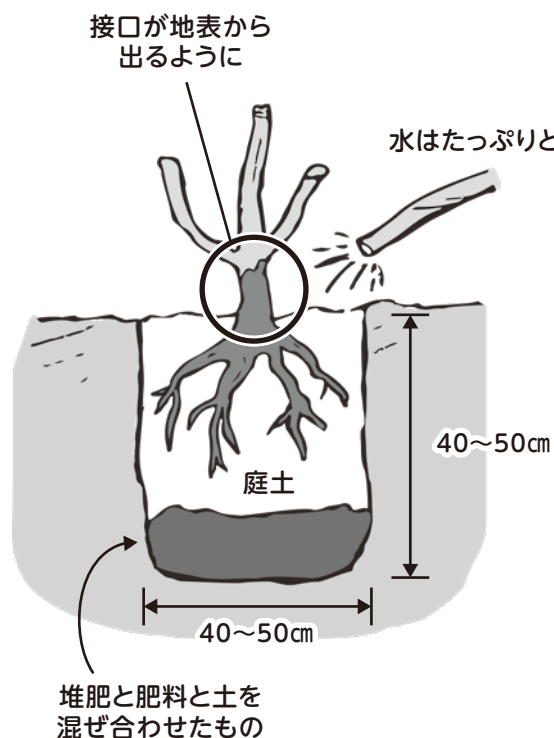
バラは、土壌の水分の量に影響を受けやすい植物です。特につぼみができる時期は、水切れはNGです。ただし、水のやり過ぎは、根腐れを招くので、注意しましょう。夏場など日の強い時期に、葉に水をかけると葉焼けを起こす場合がありますので、注意しましょう。水やりの際、土の跳ね返りが葉などにつくと、病気になる場合があります。土の跳ね返りが少なくなるよう、ワラやバークなどを敷くとよいです。



● 植え付け

地植えの場合

目安ですが、4月頃がおすすめです。ただし、霜にあたると傷む可能性もありますので、その時の気候をよく確認しておきましょう。大苗の場合、直径40～50cm、深さ40～50cmくらいの植穴に、JAファーム牛ふん入りバーク堆肥5ℓとJAファーム野菜とお花の肥料またはバラ専用の肥料を規定量入れ、掘り出した土とよく混ぜ合わせます。肥料と根が直接触れないよう注意しましょう。接ぎ木部分が土に埋まってしまわないよう注意しながら、植え付けます。土を戻したら、水を与えます。支柱を立てて、固定します。



鉢植えの場合

根がよく伸びますので、大きめの鉢を選びます。土は、JAファームお花の土がおすすめです。元肥は不要です。鉢底石などを入れ、水はけを良くしておきましょう。

● 施肥

肥料は、JAファーム野菜とお花の肥料または、バラ専用の肥料がおすすめです。

地植えの場合

追肥は、3月・6月・9月頃に、伸びた枝の真下の位置を目安に、追肥用の肥料を円状に与えます。10～11月の時期には、JAファーム粒状苦土石灰を株元に均一にまきます。1株につき、50g程度で十分です。1～2月の時期は、寒肥と呼ばれる肥料を与えます。枝先の真下の位置に、30～40cmくらいの穴を円状に掘り、堆肥と肥料を入れ、土と混ぜ合わせます。終わったら、土を戻します。円状に掘ることが難しい場合は、株のまわり数か所に穴を掘り、同じ作業を行います。

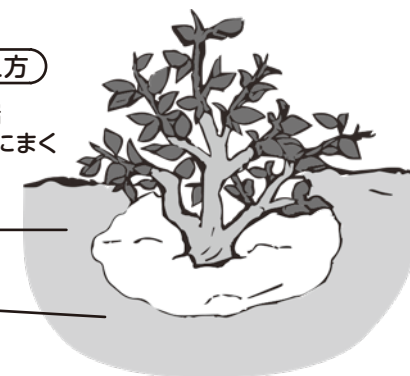
鉢植えの場合

鉢の縁の近くに、追肥用の肥料を与えましょう。

追肥の与え方

枝の先端
真下の株回りにまく

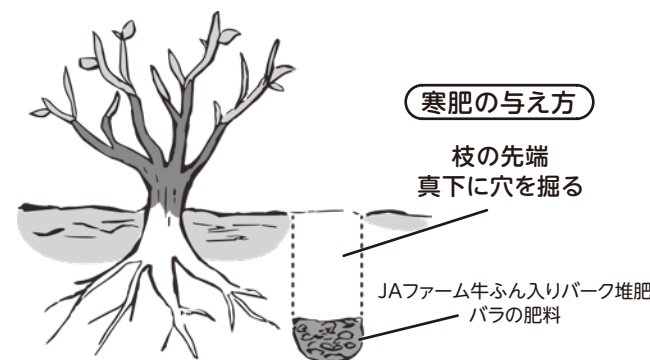
追肥用肥料



寒肥の与え方

枝の先端
真下に穴を掘る

JAファーム牛ふん入りバーク堆肥
バラの肥料



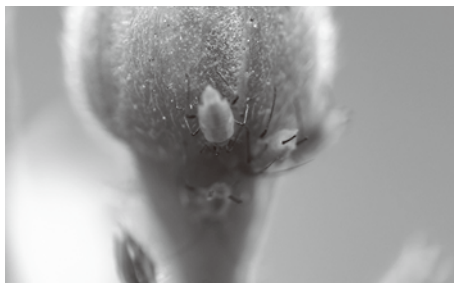
裏に続く

● 防除

バラによくつく虫は、アブラムシ(つぼみの開花不良など)、アザミウマ(花卉の汚れなど)、クロケシツブチョッキリ(新芽やつぼみの折れ)、ハバチの幼虫(葉の食害)、ハダニ(葉の退色)、カイガラムシ(枝の枯死)などがあります。

病気は、黒星病、うどんこ病が発生しやすいです。いずれも予防と早期発見が重要です。

バラは、病気や虫の被害が多い植物です。毎日、葉やつぼみを観察しましょう。手で取り除ける虫もありますが、目に見えないほどの小さい虫もいますので、農薬による防除がおすすめです。詳しくは、店舗職員にご相談ください。



アブラムシ



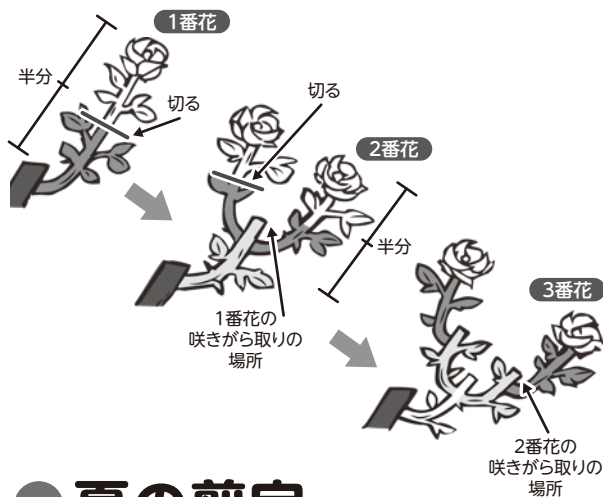
黒星病



うどんこ病

● 咲きがら取り

開花の時期は、花が咲き終わった枝は、半分くらいを残して、切ります。横から次の花を咲かす枝が伸びてきます。

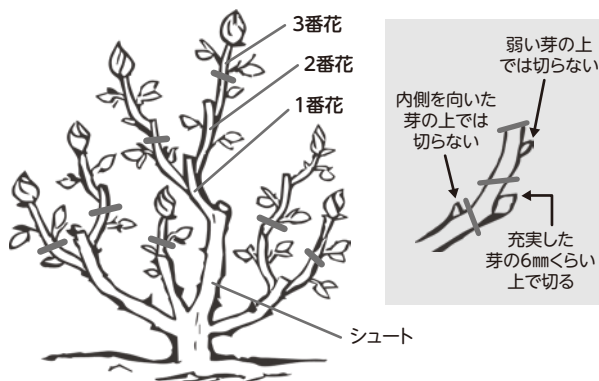


● 夏の剪定

夏の時期の剪定は、9月上旬に行います。その年の春に植えたばかりのものは、夏剪定は行いません。夏剪定は、四季咲きの大輪系・中輪系、四季咲きのシュラブ・ローズ、ミニチュア系のバラで行います。それ以外のつるバラや四季咲きでない品種などは必要ありません。今年伸びたすべての枝に鋏を入れましょう。

基本的に枝の外側についている芽の上を切り落とします。四季咲きの大輪系・中輪系は、2番花・3番花の枝を混ぜながら切っていきます。

ミニチュア系は、丸く刈り込むように剪定します。



● 冬の剪定

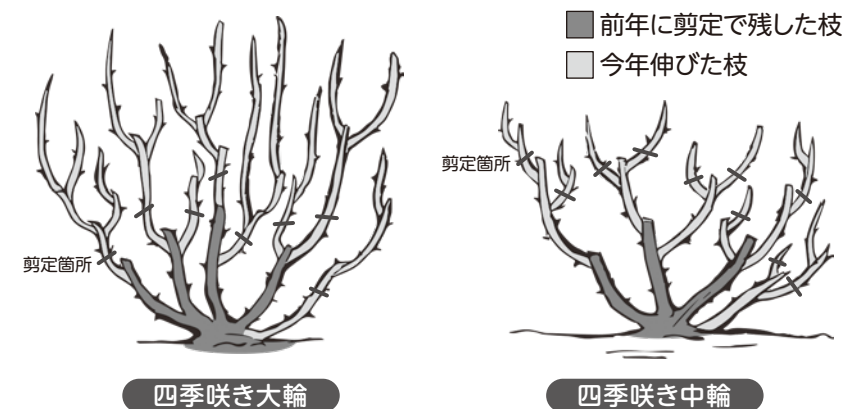
冬の剪定は、1～2月頃に行います。必ず今年伸びたすべての枝に鋏を入れます。基本的に外側についている芽の上を切り落とします。タイプにより、剪定方法が少し異なります。

四季咲大輪系は、全体が半分から1/3位の高さになる様に切ります。今年伸びた1番花の枝の芽を残すイメージです。

四季咲中輪系も基本的には同じですが、花をたくさん咲かせる為に枝を多く残してください。今年伸びた2番花の枝の芽を残すイメージで剪定します。

シュラブ・ローズは、刈り込むように枝を落としていきます。

ミニチュア系は、芽を気にせずに刈り込む感じで半分から1/3位の高さになる様に切ります。見た目が良く見えるよう形を整えましょう。



● つるバラの剪定・誘引

12月下旬から1月上旬に行います。残っている葉はすべて取ります。弱々しい枝や混み合っている枝は、剪定しましょう。残した主要な枝は、先端を20～30cm程度切ります。側枝も10cm程度残して切ります。シュート(根元から発生する芽・枝のこと)は、全体のバランスを見ながら、誘引していきます。この際、シュートも先端を20～30cm程度切ります。

